

日本石油輸送株式会社

証券コード：9074

JOT

株主の皆様へ

2023年3月期 報告書

2022年4月1日～2023年3月31日



Shift for the Next

安全の徹底と質の高いサービスで 未来への責任を果たします



代表取締役社長

原 昌一郎

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第106期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の事業概況のご報告をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

今後のわが国経済は、社会経済活動の正常化により景気の回復が期待される一方、ロシア・ウクライナ問題の長期化や、海外経済の減速等による悪影響も懸念され、先行き不透明な状況が続くものと思われます。

当社グループの事業環境につきましても、国内外の情勢を受けた物価高騰の影響や、これによる輸送需要の低迷等に加え、2024年には物流業界における時間外労働の上限規制が適用され、さらなる乗務員不足も危惧されるなど、今後も厳しい状況が続くものと予想されます。

中期経営計画2年目となる2022年度は、厳しい事業環境のなかで、利益面においては計画を下回る結果となりましたが、最終年度となる2023年度におきましては、中期経営計画における各事業の基本方針・行動計画のもと、安全・安定輸送を継続しつつ、目標に向かって力を尽くしてまいります。

また、「クリーンロジスティクス」(CO₂の排出抑制に向けた、新たなエネルギーの輸送事業や輸送方法)の実現、新規事業創出等の将来を見据えた取り組みや、雇用環境の改善による乗務員の確保を継続的に進めるとともに、E S G(環境・社会・ガバナンス)経営の実践にも努め、強い収益基盤と安定した財務体質を確立し、国内ナンバーワンのエネルギー輸送会社を目指してまいります。

当期の期末配当金につきましては、株主の皆様への還元を充実させるべく前期の実績より10円増配し、1株につき金50円とさせていただきます。これにより、中間配当金(1株につき金40円)を含めました年間配当金は1株につき金90円となっております。

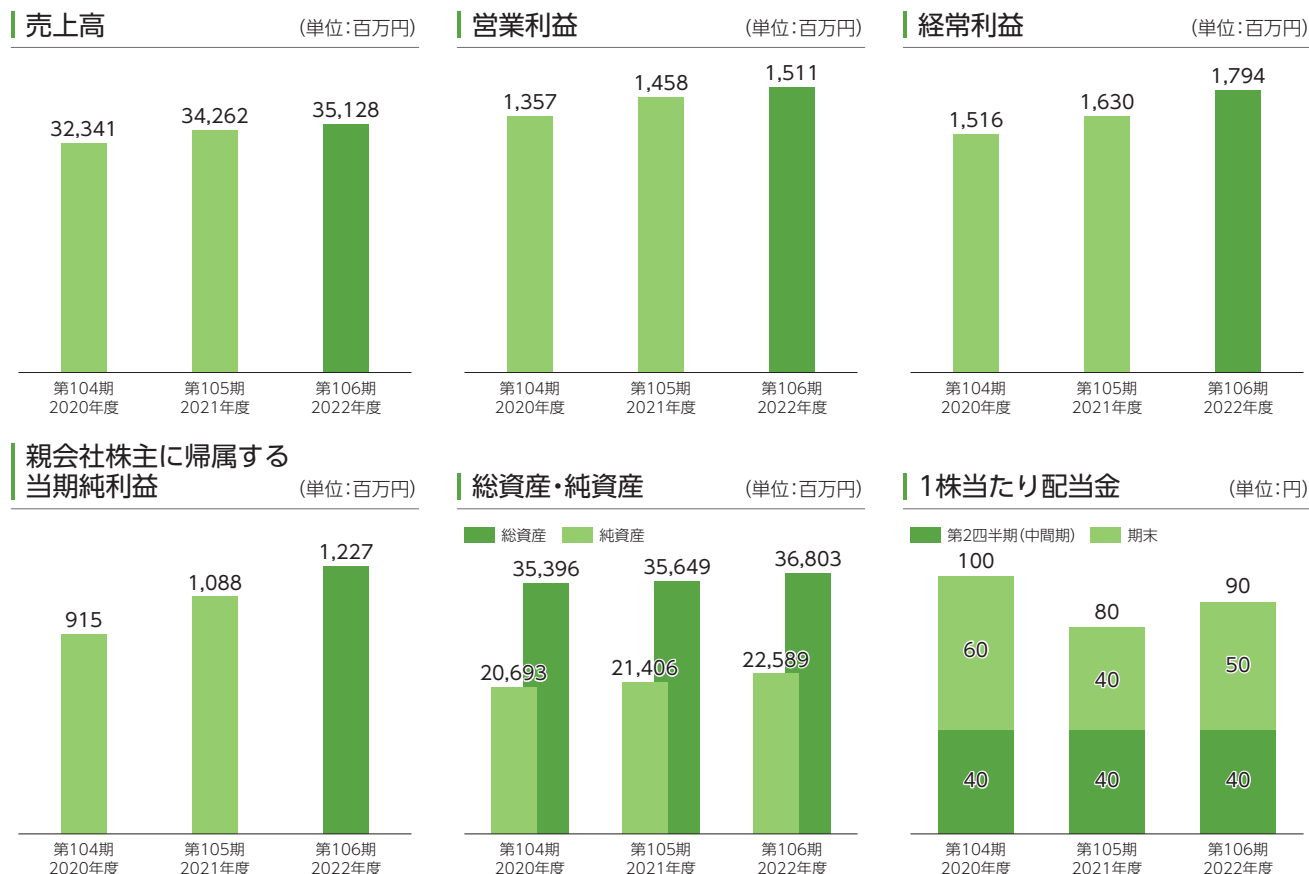
株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

第106期決算の概況（連結）

当社グループは、中期経営計画（2021年度～2023年度）の達成に向け、感染症の予防を図りながら、安全・安定輸送を継続しつつ、基盤事業における収益の維持・確保や生産性向上、海外輸送の収益力の向上、脱炭素社会に向けた輸送需要への対応等に取り組みました。

この結果、当連結会計年度における売上高は35,128百万円（前年同期比2.5%増）となりました。また、営業利益は1,511百万円（同3.6%増）、経常利益は1,794百万円（同10.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,227百万円（同12.8%増）となりました。

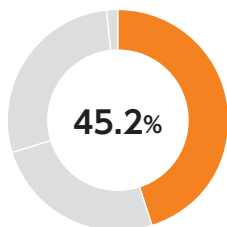


※第104期の1株当たり配当金には記念配当20円が含まれております。

セグメント別の概況（連結）

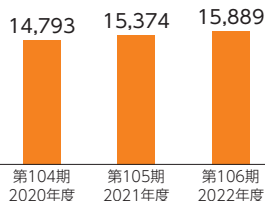
石油 輸送事業

売上高構成比

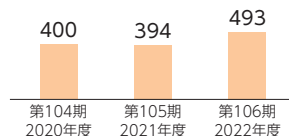


売上高・セグメント利益の推移

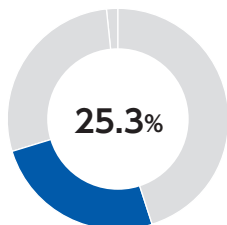
売上高 (単位:百万円)



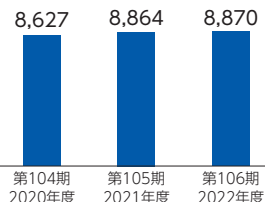
セグメント利益 (単位:百万円)



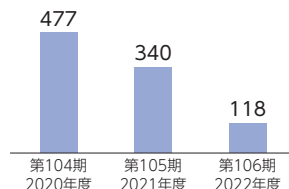
高圧ガス 輸送事業



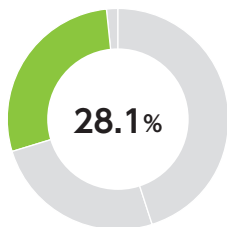
売上高 (単位:百万円)



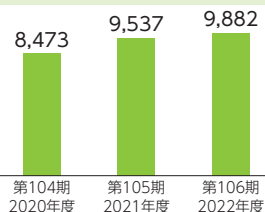
セグメント利益 (単位:百万円)



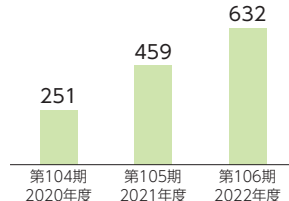
化成品・ コンテナ 輸送事業



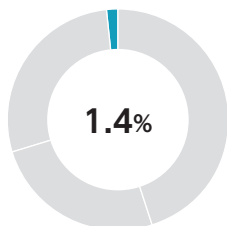
売上高 (単位:百万円)



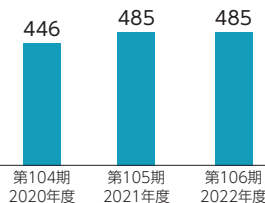
セグメント利益 (単位:百万円)



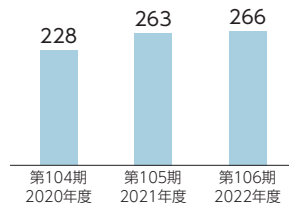
資産運用 事業



売上高 (単位:百万円)



セグメント利益 (単位:百万円)



主要な事業内容

環境に優しく、低コストで大量輸送が可能な鉄道タンク車輸送と、機動力があり柔軟性に富んだ自動車輸送という2つの異なる輸送モードを持つメリットを生かし、ガソリン、軽油、灯油等の燃料油の輸送を行っています。



LNG(液化天然ガス)のタンクローリーによる輸送と、鉄道用タンクコンテナによる複合一貫輸送を行っています。全国各地の輸入基地および国産ガス田から、お客様のサテライト基地、工場等を結んでいます。



化成品輸送事業は、国内外において各種石油化学製品等を輸送する各種コンテナのリースおよび様々な輸送モードを組み合わせた複合一貫輸送を展開しています。

コンテナ輸送事業は、農産品や食料品、工業製品、宅配便等、お客様のニーズに適した各種鉄道用コンテナをレンタル・リースしています。



保有不動産の賃貸事業に加え、全国4か所にソーラーステーションを設置し、太陽光発電事業を行っています。



当期の概況

売上高 15,889百万円 **セグメント利益 493百万円**

鉄道輸送において出荷地変更の影響による輸送数量の増加に加え、自動車輸送における需要の増加等により、売上高およびセグメント利益は増加いたしました。

この結果、当事業における売上高は15,889百万円(前年同期比3.4%増)、セグメント利益は493百万円(同25.0%増)となりました。

売上高 8,870百万円 **セグメント利益 118百万円**

LNG輸送および水素輸送において新規輸送による増加等があったものの、LPG輸送における需要の減少等により、売上高は前年並みの8,870百万円(前年同期比0.1%増)となりました。一方、燃料費や人件費等の経費の増加により、セグメント利益は118百万円(同65.3%減)となりました。

売上高 9,882百万円 **セグメント利益 632百万円**

化成品輸送においては、国内輸送の需要が減少いたしましたが、海外輸送における収益力の向上や円安の影響等が寄与し、売上高は増加いたしました。

コンテナ輸送においては、自然災害による貨物列車の運休の影響等を受け、売上高は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は9,882百万円(前年同期比3.6%増)、セグメント利益は632百万円(同37.6%増)となりました。

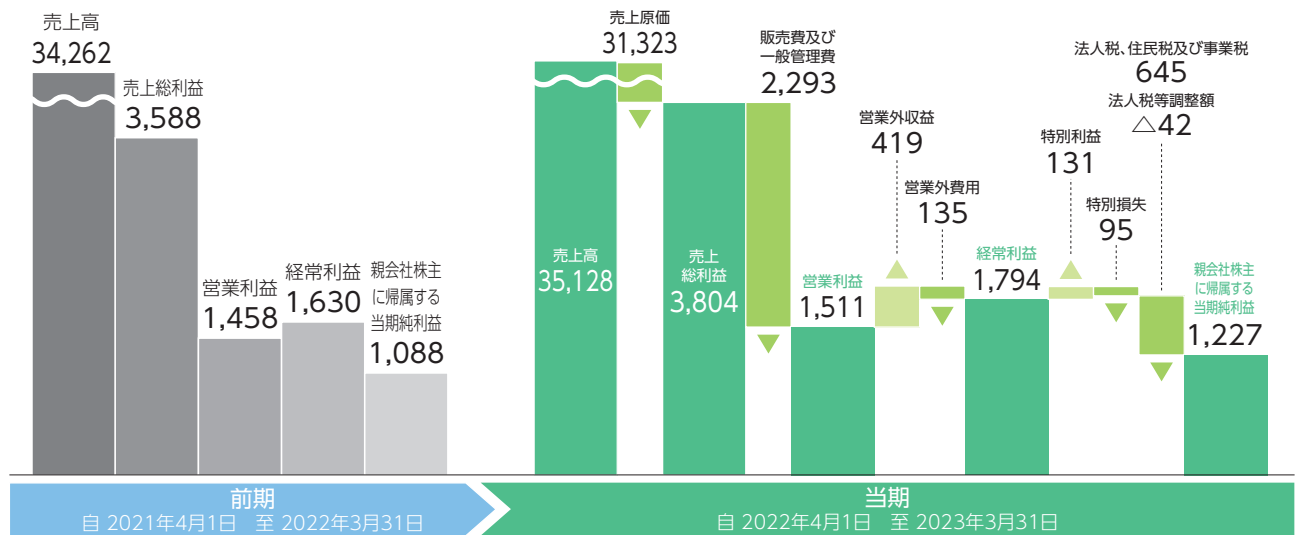
売上高 485百万円 **セグメント利益 266百万円**

不動産賃貸において新規物件の賃貸開始があったものの、太陽光発電において発電量が減少したため、売上高は前年並みの485百万円(前年同期比0.1%減)となりました。また、経費の減少によりセグメント利益は266百万円(同1.3%増)となりました。

連結財務諸表

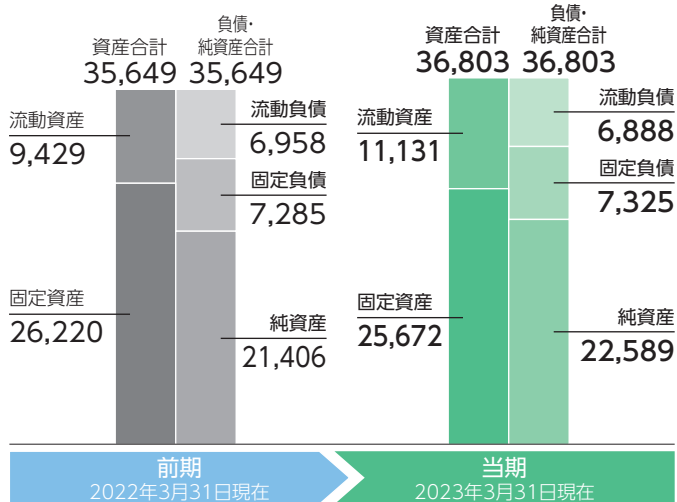
連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)



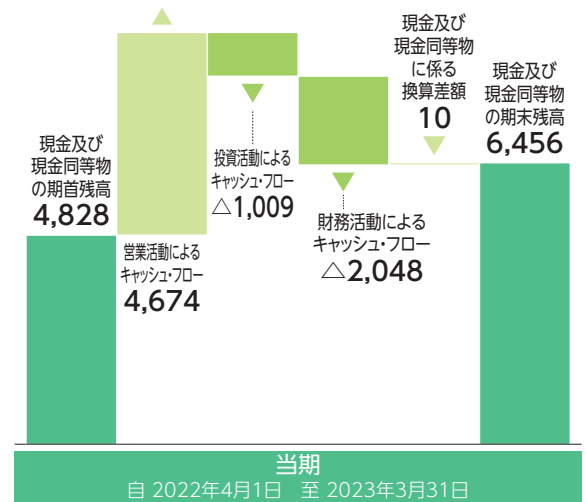
連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

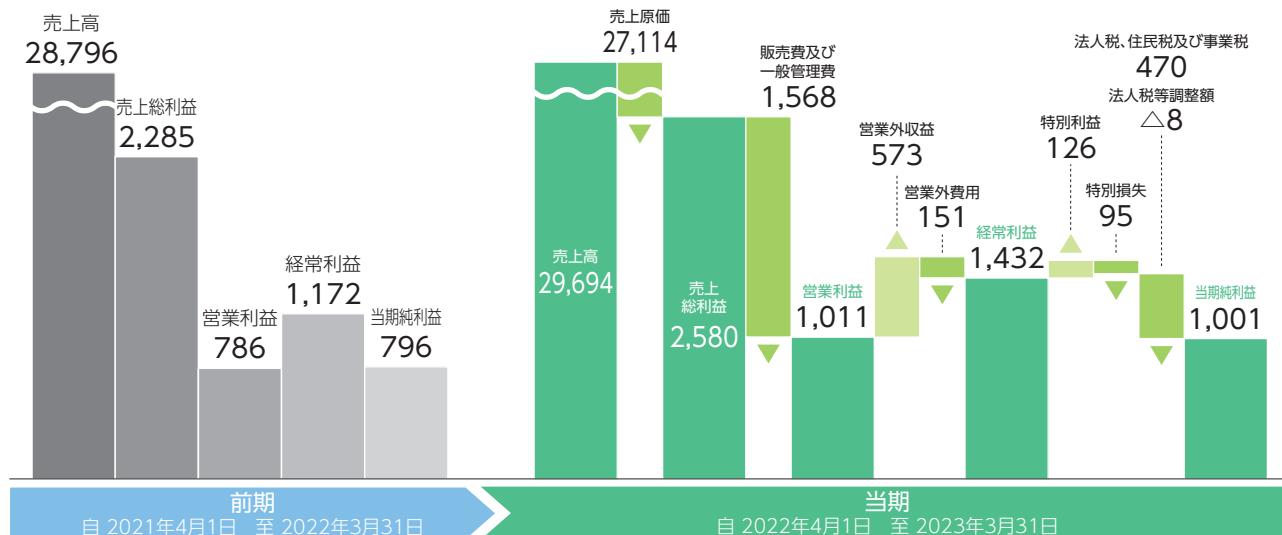
(単位:百万円)



単独財務諸表

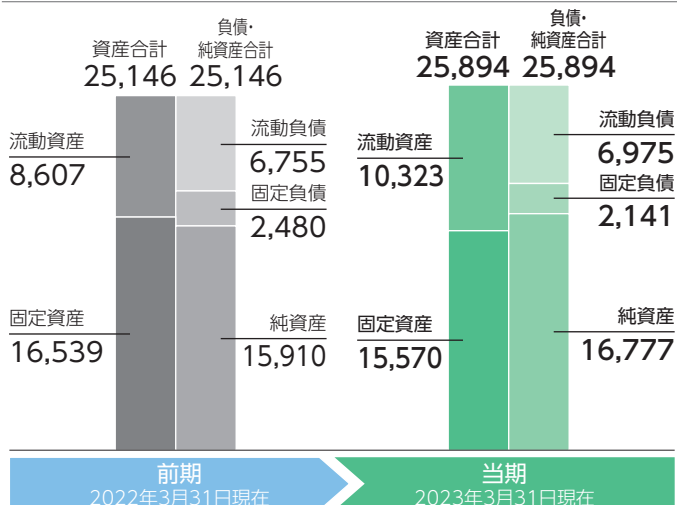
単独損益計算書(要旨)

(単位:百万円)



単独貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)



詳細な財務情報は、当社ホームページ
をご参照ください。

<https://www.jot.co.jp/ir/>

日本石油輸送 IR

検索

株式の状況／JOTグループ

(2023年3月31日現在)

株式の状況

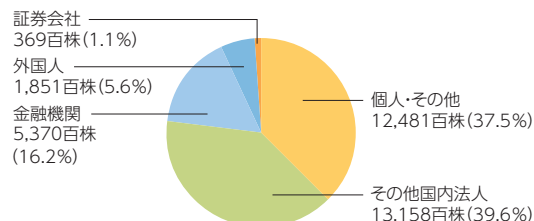
発行可能株式総数	6,000,000 株
発行済株式の総数	3,322,935 株
	(自己株式12,594株を含む)
株主数	3,223 名

大株主

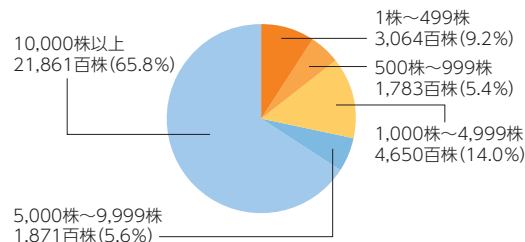
株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
ENEOSホールディングス株式会社	9,644	29.14
光通信株式会社	2,025	6.12
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,777	5.37
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1,275	3.85
株式会社三井住友銀行	788	2.38
小野寺毅	721	2.18
日本石油輸送グループ従業員持株会	687	2.08
日本車輛製造株式会社	669	2.02
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	484	1.46
衛藤素子	399	1.21

株式の分布

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



JOTグループ

株式会社エネックス

石油製品・高圧ガス等の貨物自動車輸送、
油槽所等の基地運営業務

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番1号
TEL:03-5759-6701(代表)

近畿石油輸送株式会社

石油製品・高圧ガス等の
貨物自動車輸送

〒510-8002 三重県四日市市天力須賀新町1番地20
TEL:059-363-2500(代表)

株式会社ニチユ

産業機材、車両等の販売および賃貸、
保険代理業

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番1号
TEL:03-6417-9591(代表)

株式会社ニュージェイズ

石油化学製品・高圧ガス等の貨物自動車輸送、
自動車整備事業

〒510-0958 三重県四日市市小古曽三丁目2番15号
TEL:059-349-1800(代表)

株式会社JKトランス

石油製品・石油化学製品等の
貨物自動車輸送

〒210-0856 川崎市川崎区田辺新田1番5号
TEL:044-328-6625(代表)

会社概要

(2023年3月31日現在)

会社概要

商号	日本石油輸送株式会社
設立	1946年(昭和21年)3月27日
本社所在地	〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番1号 (ゲートシティ大崎 ウエストタワー16階) TEL:03-5496-7671 (代表)
資本金	16億61百万円
従業員数	連結1,518名、単体159名
主要取引銀行	(株)三井住友銀行、(株)三菱UFJ銀行、(株)みずほ銀行
主要な事業所	北海道支店(札幌)・東北支店(仙台)・ 関東支店(川崎)・中部支店(名古屋)・ 関西支店(大阪)・九州支店(福岡)・ シンガポール支店(シンガポール共和国) および新潟事業所
主要な事業内容	1. 石油製品(ガソリン・灯油等)の鉄道タンク車輸 送・貨物自動車輸送 2. 高圧ガス(LNG等)の鉄道コンテナ輸送・貨物自 動車輸送および複合一貫輸送 3. 石油化学製品等の鉄道コンテナ輸送・貨物自動車 輸送ならびに国内および国際複合一貫輸送、各種 コンテナのリース 4. 鉄道用冷蔵・冷凍コンテナ等のレンタル・リース 5. 不動産賃貸事業 6. 太陽光発電事業

役 員

(2023年6月29日現在)

取締役		
代表取締役会長		栗本 透
代表取締役社長 社長 執行役員		原 昌一郎
取 締 役 専務 執行役員	グループ安全推進部管掌 石油輸送事業部長兼高圧ガス輸送事業部長 兼石油輸送事業部石油1部長	高橋 文弥
取 締 役 常務 執行役員	化成品・コンテナ輸送事業部長	武本 修
取 締 役 常務 執行役員	人事部、経理部、情報システム部管掌 経営企画室長兼人事部長	岡崎 基太
取 締 役 執 行 役 員	総務部、資産運用部管掌 総務部長兼資産運用部長	松井 克浩
取 締 役 執 行 役 員	化成品・コンテナ輸送事業部化成品1部長	遠藤 尚
取 締 役	株式会社エネックス代表取締役社長	田長丸雅司
社 外 取 締 役		草刈 隆郎
社 外 取 締 役		坂之上洋子
監査役		
常 勤 監 査 役		高野 潤
監 査 役		辻 幸則
社 外 監 査 役		佐野 裕
社 外 監 査 役		齊藤 貴一
取締役を兼務しない執行役員		
執 行 役 員	グループ安全推進部管掌 石油輸送事業部副部長	竹本 明彦
執 行 役 員	化成品・コンテナ輸送事業部コンテナ部長	花岡 雅弘
執 行 役 員	高圧ガス輸送事業部高圧ガス1部長	成川 隆介
執 行 役 員	化成品・コンテナ輸送事業部化成品2部長	花田 優

単元未満株式のお取扱いについて

単元未満株式とは、当社株式の売買単位である1単元(100株)未満(1～99株)の株式のことであり、市場での売買ができませんが、そのお取扱いには、以下の方法がありますので、ご案内いたします。

1.買取制度

ご所有の単元未満株式は、当社に対し買取（現金化）の請求をすることができます。

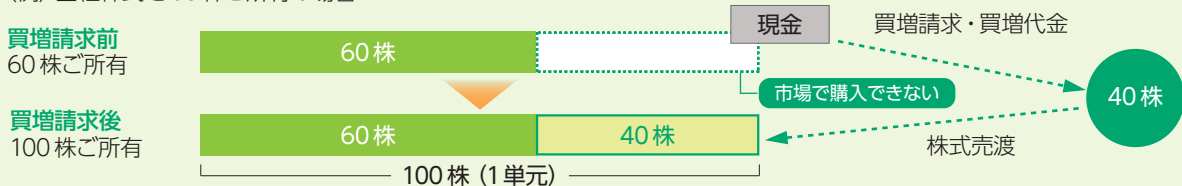
(例) 当社株式を120株ご所有の場合



2.買増制度

ご所有の単元未満株式の数とあわせ、当社に対し1単元(100株)になる数の株式の買増を請求することができます。

(例) 当社株式を60株ご所有の場合



お手続きの詳細につきましては、株主様の口座のある証券会社等または株主名簿管理人である三井住友信託銀行にお問合せください。なお、当社では買取請求および買増請求にかかる**手数料を無料**とさせていただきますが、証券会社等の口座管理機関へ支払う手数料につきましては、株主様の口座のある証券会社等へご確認ください。

【株主名簿管理人 三井住友信託銀行】

- 電話【フリーダイヤル】 0120-782-031 (平日 9:00～17:00)
- ホームページアドレス <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部



日本石油輸送株式会社

〒141-0032

東京都品川区大崎一丁目11番1号(ゲートシティ大崎 ウエストタワー16階)

TEL:03-5496-7671(代表)

<https://www.jot.co.jp/>

【株主報告書(株主通信)発行取り止めについて】

これまで「決議ご通知」に併せ発行していた、当社の業績や近況をお知らせする「株主報告書」につきまして、紙資源の削減等の観点から、当誌(2023年6月発行分)は当社ウェブサイトへの掲載のみとし、それ以降は当社ウェブサイトにおける各情報のさらなる充実を図ることで、発行自体を取り止めさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解をいただくようお願い申し上げます。